

Yusuhara a Home from Home (第8部)

悪条件の中の運動会

(Overcoming a Series of Unfortunate Events)

先月の話になりますが、梶原学園では運動会が行われました。コロナウイルスのため、開催にはもともとかなりの制約がかかっていたのですが、あいにくと、もうひとつ厳しい条件が加わることになりました……雨、つまり悪天候です。

結局、直前の1週間は雨がずっと降り続け、各競技の練習、プログラム全体の予行演習、テント設営といった準備にかなりの影響が出てしまいました。当日の朝になっても決行の判断は難しく、僕たちはじっと待つしかない状況でしたが、その後天候がやや持ち直したことで、開催の運びとなりました。完璧な状態とは言い難かったのは確かですが、それでも、スケジュール通りにプログラムをこなしていくには十分なものでした。

このように、いつにない状況の中で行われた運動会でしたが、だからと言って参加生徒たちのやる気がそがれていたわけではありません。とりわけ9年生は、これが学園で最後の運動会ということで、かなり気合いが入っていたと思います。雨天開催というのは確かに不本意なものでしたが、そのおかげで競技中に笑いが生まれることもありました。グラウンドのいたるところですべったり、転んだりする光景が見られましたが、中にはこれで思わぬ逆転劇が生まれたりもしました。悪条件が重なった今年の運動会でしたが、そうした厳しい状況が逆に、生徒たちみんなの持てる力を最高の形で発揮させることにつながったようにも僕には思えました。その意味では、大成功だったのではないのでしょうか。



開会式の様子です。ぬかるんだ地面に、みんなの姿が映っているのがわかると思います。

(日本語訳：町 ALT 森竹弘喜)